

## ブディストホール 照明ご利用に関するご注意

当ホールはすべての機材の設置・撤去及び操作は主催者または主催者手配の専門業者の方に行っているため、劇場照明担当者は常駐していません。

指定管理者がいる劇場（いわゆる公共ホール）や小劇場（いわゆるグリッドに脚立を使って仕込む）のどちらかしかのチーフ経験がない方のご利用は予め下見などを行ってください。

機材の在庫数、設備の不具合などは常に変動しております。

機材の在庫数に関しましてはホームページの【照明設備】の項目にてご確認ください。

また、直前の最新情報は反映されていないことがありますので余裕をもった仕込みをお願いいたします。

### ■ 提出書類について ■

照明仕込み図の提出期限は小屋入り 2 週間前です。

※ご提出いただけない場合は照明の仕込みができませんのでご協力をお願いいたします。

提出が難しい場合は必ずお電話にて 2 週間前までにご連絡ください。

### ■ 照明設備使用の際のご注意・お願い ■

・バトンの昇降は綱元（カウンターウエイト方式の手動）です。知識のある方の手配をお願いいたします。

・仮設ユニット(下手袖や調整室)をご利用の場合は入れ込み前に直回路にて点灯チェックをお願いいたします。

・分電盤より電源を取る事は(資格の有無にかかわらず)禁止させていただいております。

カムロック、その他直電源回路をご利用ください。

・1 回路 15 A 以内でのご利用をお願いいたします。

・バラシの終了時に機材、ケーブルなど備品の数のチェックをお願いしております。

チェックリストにご記入の上、バラシ立会担当者の確認をお受け下さい。

※使用電流量にご注意ください。フル点灯や多数のc hを付けてのチェックはご遠慮ください。

※使用容量200A付近以上になりますとブレーカーが作動する場合がございます。単相3線の電源ではありますが、400A計算ではなく200A以内での使用をお願いいたします。

・設備が全体的に古く、劇場内ブレーカーより先にキュービクル（東京電力から引き込んでいる建物全体大元の電気設備）のブレーカーがおちてしまうことがありその場合は、関東電気保安協会や建物管理者とのやり取りや作業が発生しますので、復旧まで2,3時間以上かかる場合がございます。

・卓のDMXケーブルの抜き差しは「卓や照明主幹の電源を落とした状態」でお願いできますでしょうか。（こちら誤った信号で全点灯を防ぐための対策となります）

・卓で操作の際に全点灯やすべてのチャンネルをしょんぼりでも生かしてチェックすることはお控えいただけますでしょうか。

・またデータの作成の際も容量にご注意いただけますでしょうか。

・ブレーカーや漏電警報機が反応しますと、電気保安協会や建物管理会社が劇場内にて安全確認作業を行うため、復帰までお時間（2,3時間以上）がかかる場合がございます。

その際にはご協力をお願いいたします。

・スタンドやステージ置き機材には転倒防止の為、シズやウエイト袋をご利用ください。

・直電源を使用する機材（LEDやムービング、煙など）には漏電遮断機付きケーブルを電源と機材の間に接続してご利用ください。

・灯入れ、電飾なども同様の対応をお願いできますでしょうか。ご自身で製作する場合は完成した状態でお持ち込みください。

※漏電遮断器付きケーブルは劇場在庫で平行口15Aのものが8本ございます。

・持込み機材はすべてあらかじめ漏電チェック、不具合がないかご確認の上お持ち込みください。

調整室のガラスを通しての投光が禁止です。下手上手の窓の部分からは可能です。

・調整室から投光する場合は上手下手の窓からのみお願いします。

※調整室のガラスを透しての照射はできませんのでご注意ください。

（上手下手の窓からソースフォーであれば各2,3台は投光できます。）

2024年11月現在